

いしかり「防火」通信

海水浴のシーズンになってきました！！

海浜地での火の取り扱いに十分気を付けましょう

7月に入り、気温が高くなると、いよいよ海水浴シーズンです。
事故なくゆっくりと「涼」を楽しみたいところですが、人出が集中する海岸付近では毎年、火事や火事騒ぎが起きているのを知っていましたか？

○令和元年に石狩市内で起きた海岸付近の火事騒ぎ



上記はバーベキューの火が草に燃え移ったことにより発生した火事騒ぎの写真です。

消火に失敗し、燃え広がっていたら命の危険もあったかもしれません。

そうならないように火事には十分気を付けて火気の取り扱いをしましょう！

○バーベキューの火起こし



火起こしの際、簡単に火が起きるように焚き付けや着火剤を補助燃料として使用することがあります。

ジェルタイプの着火剤には揮発性が高く引火しやすいメチルアルコールが使われているため、途中でつぎ足すと、大きな炎があがったり、火が着火剤を伝わり容器の内部まで達すると爆発するおそれがあります。

着火剤を用いて点火するときには、適量を守りつぎ足しは絶対にしない等、パッケージに記載されている注意事項を守って正しく使いましょう。



○炭の後始末



バーベキューが終わった後の炭の処理方法として一番簡単なのは、水を張ったバケツ（金属製）を用意し、その中に火ばさみ等を使って炭を入れていきます。炭から気泡が上がらなくなることが、火が消えた目安になります。

他には「火消し壺」に炭を入れて蓋をする処理方法があります。これは壺の内が酸欠状態になり自然と火が消えるものですが完全に消えるまでには時間がかかり、底面が非常に熱くなりますので火傷に注意が必要です。

○カセットコンロの危険な使い方



カセットコンロを使用してアウトドア料理を楽しむ場合もあるかと思いますが、屋内外問わず、カセットコンロ全体を覆うような大きな鍋や鉄板などを載せる使い方は絶対にやめましょう。このような使い方をすると鍋や鉄板からの放射熱で使用中のカセットボンベが加熱され、ボンベ内の圧力が上昇して爆発につながります。（安全装置付を除く）

また、カセットコンロの上に金網を載せ、その上に炭を置いて火を起こしたため、放射熱でボンベが爆発するおそれがあります。

ボンベは使用するコンロによって種類が異なります。説明書をよく読み、正しく使用しましょう。



ルールやマナーを守って夏を楽しみましょう！



発行：石狩消防署予防課

〒061-3211

石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ



ツイッター